

令和 4年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 生産振興課
 担当名: 主穀担当
 内線: 4145

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B25	種苗センター管理運営事業			一般会計	農林水産業費	農業費	園芸農産振興費	種苗センター費	
事業期間	平成 6年度～	根拠法令	埼玉県種苗センター条例第1条、埼玉県主要農作物種子条例第1条、第2条、第4条		針路	12	儲かる農林業の推進	SDGsゴール	
					分野施策	1202	強みを生かした収益力のある農業の確立	SDGsターゲット	
1 事業概要	優良種苗の供給等を通じて、農業生産の安定と産地の育成を図り、都市近郊農業としての本県農業の優位性を確保するため、埼玉県種苗センターの的確かつ効果的な運営を図る。 ア 品種登録出願の前倒しによる手数料の減額 △500千円 イ 事務費の節減による減額 △36千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 種苗センター管理運営事業 138,805千円 種苗センターの管理・運営を指定管理者((公社)埼玉県農林公社)へ業務委託する(令和元年度～令和5年度)。 イ 登録品種管理事業 3,098千円 種苗法に基づく品種登録を行うとともに、補償金を育成者に支払う。 ウ 施設改修費 4,179千円 暖房機、豆刈機、動力噴霧器等、優良種苗の生産に必要な機器を導入する。 エ 派遣職員人件費 0千円 派遣職員(種苗センター所長、技術統括アドバイザー)の人件費を支給する。 (2) 事業計画 ア 主要農作物の原種の生産・供給 埼玉県主要農作物種子条例に基づき、品質が確保された水稻、麦類、大豆の原種及び飼料用稲の種子を生産・供給する。 イ 園芸作物の優良種苗の生産・供給 いちご、りんどう、わけねぎのウイルスフリー苗を専用室で生産するとともに、県育成の彩玉の苗を生産・供給する。 ウ 園芸作物等の苗の受託育成 生産者の要望を受け、野菜・花きの成型苗、きゅうり等の接ぎ木苗、ポット苗、水稻箱苗を受託育成する。 (3) 事業効果 優良品種の供給を通じて、農業生産の安定と産地の育成が図られ、都市近郊農業としての本県農業の優位性が確保できる。 成果目標 米、麦、大豆の県需要量の確保 (4) 補正予算の概要 ア 品種登録出願を前年度に前倒しで行ったことによる手数料の減額 イ 事務費の節減による減額					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用) (区分)農業行政費(細目)農業振興費 (細節)生産流通振興費 (積算内容)主要農作物の原種ほの設置に関する事務									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1人=9,500千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
		使用料・手数料	財産収入	諸収入					
決定額	△536						△536	145,546	
現計額	146,082	52	21,362	345			124,323		

事業内訳書

事業名	種苗センター管理運営事業		
単位事業名	種苗センター管理運営事業	予算額	△ 36千円

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△13	—	関係機関打合せの減 △13千円
需用費	△21	—	消耗品費の減 △21千円
役務費	△2	—	通信運搬費の減 △2千円
合計	△36	—	

単位事業名	登録品種管理事業	予算額	△ 500千円
-------	----------	-----	---------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
役務費	△500	—	品種登録出願の前倒しによる手数料の減額 △500千円
合計	△500	—	